

5.1 将来像

本計画は、「第3章 町田市の生物多様性の特徴と現状及び課題」を踏まえ、生物多様性の保全と持続可能な利用を進める上での「将来像」を以下のように示します。川の源流から里山や街まで、様々な環境に様々ないのちが織りなして輝いている豊かな町田をあらわしています。

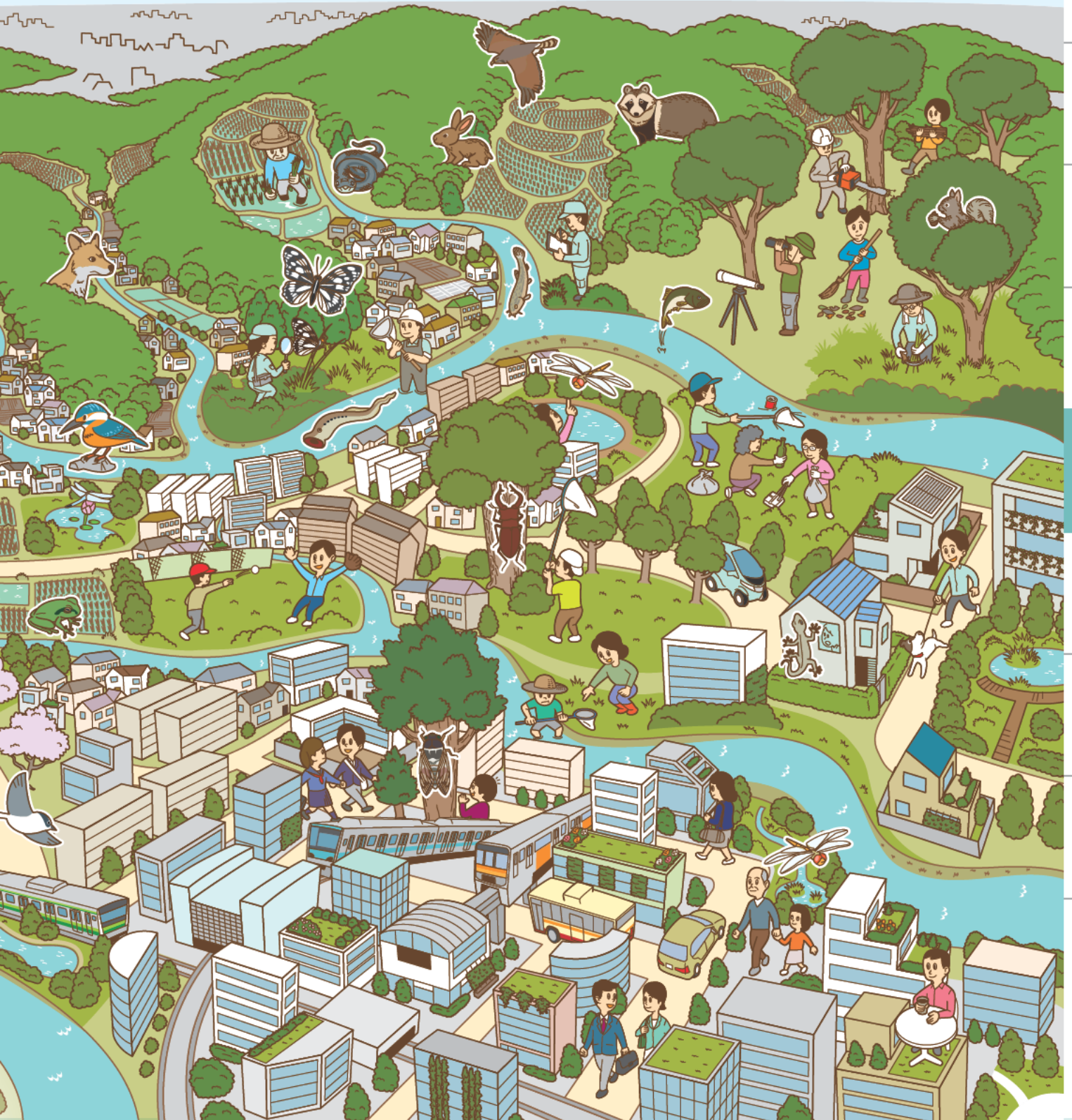
この「将来像」の達成は計画の中長期目標と位置づけ、目標達成年は2050年とします。

2050年の町田市は、源流から里山までの自然とその恵みにより育まれてきたまちが、自然と調和をもって共生しており、水と緑の広域的な連続性が確保されています。この多様な環境の中には、様々な生きものが生育・生息する環境が良好に維持されています。また、生物多様性の重要性を皆が認識することで、多様な主体による生物多様性の保全活動の輪が広がっています。さらに、生きものから得られる恵みを皆が公平に享受しつつ、人と生きものとの共存・共栄を将来世代へ継承する仕組みが出来ており、持続可能な未来に続く明るい地域社会となっています。

将来像



“源流から里山、街が織りなす いのち輝く町田”



第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

資料編

5.2 目標

将来像の達成を目指し、以下の4つの基本方針を掲げました。

基本方針は、「意識高揚」、「人材育成」、「協働・連携」の3つの基本方針から成る基盤的取り組みと、「保全と持続可能な利用」の基本方針から成る実践的取り組みの大きく2つに区分します。

生きものやその生育・生息環境を守るためには、少しでも多くの市民が生きものや自然に親しみを感じ、生物多様性保全の必要性を理解することが必要です。生きものを身近に感じられる市民が増えることにより、生きものの生育・生息環境を守ろうという意識が高まり、保全活動の活性化につながります。

このように市民の意識高揚や保全活動につながる取り組みを「基盤的取り組み」とし、本計画期間である2015年度から2021年度までは、この「基盤的取り組み」を特に重視して取り組んでいきます。そして、保全のための基盤をつくり、少しずつ、保全と持続可能な利用に関する「実践的取り組み」の割合を高めていきます。

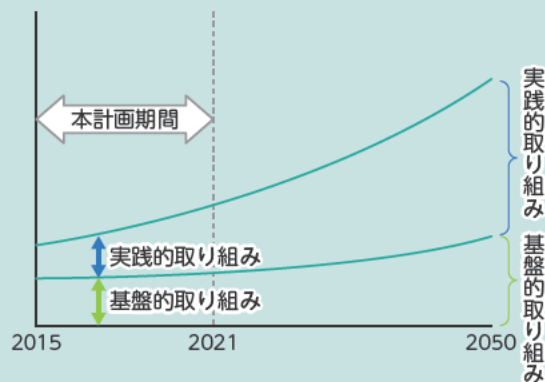
4つの基本方針

【基盤的取り組み】

- ・基本方針1：意識高揚 ～理解する～
- ・基本方針2：人材育成 ～育つ～
- ・基本方針3：協働・連携 ～つながる～

【実践的取り組み】

- ・基本方針4：保全と持続可能な利用
～守る・活用する～



この4つの基本方針に沿った目標を次のとおり設定します。

4つの目標

- 町田市の生きものや自然に関心を持ち、町田市の魅力の一つととらえ、生きものや自然に親しみと愛着を持つ市民・子ども・事業者を増やします
- 生物多様性の維持・向上に関わる知識を持って保全を行う人材を育てます
- 多様な主体の協働・連携により、町田市の生きものやその生育・生息環境を守ります
- 町田市の生きものやその生育・生息環境を守り、生物多様性の恵みを継続的に利用する仕組みを構築します

基本方針1の目標：町田市の生きものや自然に関心をもち、町田市の魅力の一つとらえ、生きものや自然に親しみと愛着を持つ市民・子ども・事業者を増やします

人と自然とのかかわりにより形成された多様な環境を有する町田市の特徴を肌で感じ、それを魅力としてとらえてもらうことで、町田市の生きものや自然に親しみや愛着を持つ市民、事業者、とりわけ将来世代を担う子どもを増やすことを目標として掲げます。また、行政においても、市の職員の知識の向上を図ります。

基本方針2の目標：生物多様性の維持・向上に関わる知識を持って保全を行う人材を育てます

町田市の歴史・文化や自然などの知識や技術を有し、周囲に発信しながら保全に取り組んでいける人材を育成していくことを目標として掲げます。

基本方針3の目標：多様な主体の協働・連携により、町田市の生きものやその生育・生息環境を守ります

行政のみならず、市民、大学、事業者等の各主体との協働・連携を深めていくことを目標として掲げます。

基本方針4の目標：町田市の生きものやその生育・生息環境を守り、生物多様性の恵みを継続的に利用する仕組みを構築します

● **まとまった緑や多様な自然を有する環境を維持することにより、多様な生きものの生育・生息を図ります**

丘陵部の樹林地、谷戸の水田など、猛禽類等多様な生きものの生育・生息環境となっているまとまった緑を有する環境を保全していくとともに、そうした環境と親しむ機会を増やしていくことを目標として掲げます。

● **市街地の中でまとまった緑を有する環境は、生きもの目線に立った管理に努めます**

公園・緑地など市街地の中でまとまった緑を有する環境を保全し、また、生きものの生育・生息環境に配慮した管理を進めることで、生きもの重要な生育・生息地を確保し、町田市全域を緑のネットワークでつないでいくことを目標として掲げます。

● **河川源流部と市内を流れる河川環境は、水域の生きものの生育・生息環境として保全に努めます**

鶴見川、恩田川、境川等市内を流れる河川の環境を保全し、水辺の生きものの生育・生息環境を維持・向上させていくことを目標として掲げます。